第 60 回小島三郎記念技術賞
並びに第 44 回福見秀雄賞贈呈式

公益財団法人 黒住医学研究振興財団

第 60 回小島三郎記念技術賞並びに第 44 回福見秀雄賞の贈呈式が、去る 6 月 6 日（金）午後 2 時より東京會舘本館（東京・千代田区）において開催されました。

開会の挨拶・選考結果・贈呈

式典は渡邉治雄理事長の開会の挨拶で始まり、水口國雄選考委員長より小島三郎記念技術賞の選考経過報告が、また、宮地勇人選考委員長委員長代行より福見秀雄賞の選考経過報告がなされ、受賞された各氏に賞状、記念品（小島三郎記念技術賞：記念盾、福見秀雄賞：記念メダル）及び副賞が贈呈されました。

【渡邉理事長の挨拶】

【贈呈式】

受賞者代表挨拶

小島三郎記念技術賞受賞者を代表して豊川真弘氏（福島県立医科大学　臨床検査科　教授）が挨拶され、「このような栄えある賞を受賞できたことを我々5 名は本当に誇りに思います。今回受贈いただきましたノカルジア感染症の研究は、2015 年度の黒住財団から受贈されました研究助成金が充当されており、現場で働く臨床検査技師にとって研究費集めは極めて困難な課題です。これからも永続的に臨床検査技師へのご支援をお願いします。」と受賞の喜びと臨床検査技師全員を代表しての希望を述べられました。

また、福見秀雄賞受賞者を代表して挨拶された水野誠司氏（前 JA 広島総合病院　臨床研究科科長）は「栄誉ある賞を授かることになり、受賞者 5 名を代表して関係者の皆様に心より感謝を申し上げます。色々な経験をしていく上で、ご指導ご支援いただいた先輩をはじめ多くの皆様に深く感謝するとともに、長年に亘り支え、応援してくれる妻に心より感謝いたします。今後も微力ながら技師会の発展のため後進の指導・育成に努めていく所存です。」と受賞の喜びと今後の思いを述べられました。

【技術賞受賞者】

【福見賞受賞者】

特別講演

厚生労働省　感染症対策部長　鷲見 学先生が「新型コロナ対応を踏まえた今後の感染症対策」と題した講演で、新型コロナ感染症の対応経過と、第 8 次医療計画（感染症部分）について。そして内閣感染症危機管理統括庁の政府行動計画のご説明をいただきました。最後には、検査に対する先生個人の私見として、日本の「検査」はポテンシャルが高い分野であり国際展開が可能である。「安く」・「持ち運べる（小型化）」・「簡単」・「丈夫（tough）」であることが鍵である。とのご意見をいただきました。

【特別講演　鷲見先生】

【閉会の挨拶　寺本常務理事】

閉会の挨拶

寺本哲也常務理事より受賞者並びにご家族の方々へのお祝いのことばが述べられ、「受賞された先生方の平素のご努力が高く評価されて本日の受賞になった訳で、この受賞を契機にさらに研究活動が発展され医療に貢献されることを祈念している。」と挨拶がありました。

記念祝賀会

贈呈式の後、受賞された先生方を囲んで、一般社団法人日本臨床衛生検査技師会 副会長 小松京子先生から受賞者へのお祝いと激励のことばをいただき、同氏による乾杯の音頭で祝賀会に移り、一般社団法人日本臨床衛生検査技師会 元副会長 小沼利光先生の中締めの挨拶で和やかなうちに散会となりました。

【祝賀会風景】　　【事務局　田代　保之】